

# 平成22年度第2回磐田市放課後子どもプラン推進事業運営委員会 会議記録

日時：平成23年 2月24日（木） 午後7時～午後8時15分

会場：磐田市役所西庁舎 3階 301会議室

出席者：鳥居和子 木内友加里 安藤隆敏 尾上 弘 山口智子 飯田 稔  
寺田義昭 秦 幸市 加藤ゆう子 鈴木 薫（10人中10人）

・磐田市教育委員会教育長 飯田 正人

・事務局 児童青少年育成室長 大杉祐子 主幹 川島光司 主査 今井悦賀  
指導主事 鈴木 篤

## 【事務局】

### 1 開 会

## 【事務局】

皆さん、こんばんは。本日は、大変お忙しい中、夜分にもかかわらずお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。それでは、ただ今から平成22年度第2回磐田市放課後子どもプラン推進事業運営委員会を開会いたします。なお、本日の会議ですが、お忙しい時期でもありますので、1時間程度で終わらせていただきたいと思います。では、最初に寺田委員長、ごあいさつをお願いします。

### 2 委員長あいさつ

## 【委員長】

皆さん、改めまして、こんばんは。お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は、22年度第2回目の運営委員会でございます。本日の会議は、それぞれのお立場から子どもたちの様子や御意見や御要望をお聞かせいただきたいと思います。

### 3 議 事

## 【事務局】

ありがとうございました。それでは運営委員会設置要綱第5条の規定により、委員長が議長となりますので、これから先の議事の進行を寺田委員長にお願いします。よろしくをお願いします。

## 【委員長】

それでは議事に移らせていただきます。まず、磐田市放課後児童クラブ、放課後子ども教室について、本年度の事業報告と来年度の事業計画を事務局から説明をお願いします。

## 【事務局】

（磐田市放課後児童クラブ、放課後子ども教室について、事務局から説明）

## 【委員長】

ただ今、磐田市放課後児童クラブ、放課後子ども教室について、事務局から説明がありました。御質問や御意見がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

では、御質問や御意見がないようですので、(2)の方に移らせていただきます。

放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について、事務局をお願いします。

## 【事務局】

（磐田市放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について、事務局から説明）

## 【委員長】

事務局から説明がありましたが、放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について、御意見をいただきたいと思います。まず、質問がある方はいらっしゃいますか。

**【委員】**

昨日、主任児童委員の会合がありまして、その中で伝えてほしいという使命を受けてここに来ました。今のところ、放課後児童クラブは、3年生まででということになっていますが、4年生でも児童クラブでみてもらえないと困るというお宅もあるようです。4年生になれば、家で一人でも留守番ができるだろうという考え方から3年生までになっているのかお聞きしたいと思います。また、今後さらに増えていくだろうと思いますが、(特別)支援学級に行っているお子さんが、4年生になったからといって、一人で留守番をすることが難しい御家庭もあるようです。昨日の会合の中でも切実に4年生になっても(放課後児童クラブで)見てもらえないかという御家庭があることをうかがってきました。今のところこのような例は認められないということで御返答いただいたと聞いているのですが、(特別)支援学級に行っているお子さんの放課後の居場所について今後検討される予定はありますでしょうか。

**【委員長】**

このことと関連させて、質問がありましたら、まとめてお願いします。では、4年生以上の子どもたちの放課後児童クラブへの受け入れについて今後考えられないかということと特別支援学級の子どもの受け入れについては、どのようにしていくのかということについて、事務局の考えについてお願いします。

**【事務局】**

4年生については、授業時間が増えることや放課後の活動が活発になってくることから想定はしておりません。また、自立性や自立性が備わってくる時期であり教育的観点から3年生までとしていただくことは、変わっておりません。来年度以降もそのような形で行っていきます。ただ、夏休みだけは、一日長いものですから、4年生までお預りするということにしております。また、特別支援学級のお子さんについては、来年、4年生になってしまうので、困ってしまうという御相談が、実際にこちらの方にもありました。多分同じ方かなと思いますが、まず、家庭でその子の放課後について対応はできないかということについて、もう一度お願いしております。それが無理な場合は、もう一度、保護者の方とお話をさせていただくということで、今、お答えをさせていただいております。今まで、特別支援学級へ行っているお子さんをお預りした例は、合併前にはあったというように聞いておりますが、今はありませんので、慎重に対応しているところです。特別支援学校へ行っているお子さんたちをお預りする児童クラブもありますので、そのようなところも紹介させていただきたいと思います。

**【委員】**

今の時点でどこになるのですか。

**【事務局】**

中部小学校です。ただ、そこまで通うことがたいへんかなと思っております。

**【委員】**

磐田市内では、そこだけですか。

**【事務局】**

はい、1箇所となっております。

**【委員長】**

よろしいでしょうか。いろいろ御意見はあろうかと思いますが、事務局からの説明は、他でも同じようにお答えをいただいております。それでは、他にありましたらお願いします。

**【委員】**

児童クラブと子ども教室の連携という話がありましたが、私は青城小学校の子ども教室にかかわっており、児童クラブの子どもも20人ほど入っています。今年のアンケートの中に、宿題をやらせてもらえないかという意見があり、先日の実行委員会でも話をしました。そのような意見があるということを考えてみると、宿題をやらせてもらえないので、子ども教室に入らないという子がいるかもしれないと思います。来年度については、子ども教室の中で宿題をやる時間を少しとろうかと考えています。例えば、子ども教室に参加している1年生は、4時45分まで体育館の中を走り回っていて、家に帰って、さあ宿題をと言ってもなかなか難しいと思います。子ども教室の中で宿題をやる時間を少しでもとってあげると、親も少し安心し、子ども教室の参加者が増えるのかなと思います。来年度は、5分、10分程度早く終わって、親が迎えに来るまでの間、宿題をやる時間をとっていこうと考えています。

**【委員長】**

ありがとうございました。そのような話は、豊田町時代にもありました。しかし、子ども教室の趣旨とずれるので、それはやらないというのが、当時の教育委員会の答えだったと思います。今、また、違う方向へ進んでいくのかなと思いました。

**【委員】**

確認しますが、子ども教室は勉強をやってはいけないということでしょうか。

**【委員長】**

いけないということではないです。竜洋地区でもやっていますので。しかし、やってもよいのだけれども推奨しないというのが、当時の県の回答でした。

**【委員】**

私たちが今までは、勉強と言うことは、一切考えて来ませんでした。しかし、活動の途中で、宿題が気になってやっている子がいます。何とかならないかなと思っています。

**【委員長】**

いろいろ検討しながら考えていただければと思います。

学校支援地域本部と放課後子どもプランとの関係はどうでしょうか。

**【事務局】**

学校支援地域本部事業は、国の委託として、平成20年度、21年度、そして、本年度まで行ってきました。この事業は、磐田市では、学校への支援、地域の教育力向上を目的として行ってきましたので、直接、放課後子どもプランとの連携を考えながら実施はしてきませんでした。委託終了後の事業展開は、学校を中心として築きつつある地域のネットワークを継続していただけるように、人材リストを作成しているところです。

**【委員長】**

学校支援地域本部は、本年度で事業終了ということのようです。その他、御意見がありましたらお願いします。

**【委員】**

福田地区については、講座形式でやっているのですが、年度によって、人気のある講座、人気のない講座があります。今年度は、残念ながら一つの講座を閉じることになりました。その代わりに、来年度からは、要望のあった講座を開講したいと考え、準備を進めているところです。ボランティアとして行うことは、承知しておりますが、謝金の金額をもう少し引き上げることができないでしょうか。新たな講師の方にお問い合わせがう時、ボランティアであることは伝えるのですが、謝金が少なく申し訳ない気持ちでいっぱいです。職業ではないので、労働賃金と比べることはできないのですが、謝金についてどのように考えるのか事務局にお聞きしたいと思います。

#### 【事務局】

福田地区については、様々な講座を工夫しながらやったださって、講師の先生方のおかげと感謝しています。また、他の地区でも、運営方法は違いますが、皆さんの御好意、ボランティアでこの事業が運営できています。今後、この事業を継続していくためには、コーディネーターや講師の皆様の協力なしには、立ち行きません。県の補助金の要綱では、ボランティアの皆さんへの謝金についての指針が示されており、回数、人数等を踏まえ、予算を立て、ほんの少しですが謝金をお支払いしています。講師依頼については、いろいろ御苦勞をされていると思います。謝金の金額の変更は難しいとは思いますが、個々に相談に乗らせていただきたいと思います。対応できるところそうではないところがあると思いますが、御連絡をいただければと思います。

#### 【委員長】

ありがとうございました。謝金は限られた中で支払っており、個人によって差をつけるわけにもいかなないので、現状について御理解いただき、御対応いただきたいと思います。

#### 【委員】

子どもが、竜洋西小の子ども教室に参加させていただいています。年度初めは参加者があまりにも少なく、学校から2度ほど募集がかかりました。学校の先生から声を掛けていただいたおかげで、参加者が結構集まりました。子どもに聞いてみますと、算数の授業が難しくなってきたので、分りやすく教えていただきよかったと言っています。アンケートにも書いてあったのですけれども宿題を終わらせてきてくれるので、私も子どもも気持ちが楽になります。個人的には、たいへんありがたかったです。

#### 【委員】

今日、放課後児童クラブのエアコン設置業者が、打合せにきました。昨年の夏、かなり暑かったため、大分指導員の方が心配されていました。しかし、エアコン設置により、今年の夏は、これが解消されるということでよかったです。放課後子ども教室は、思ったように参加者が集まっています。これは、講座方式の難しさかなと思います。興味があれば、飛び付くだろうし、一度やってみると、それには参加しないというようになってしまいがちです。やり方について、少し工夫をする余地が残っているかもしれないなと思います。豊田地区では、栽培活動をやっているようですが、興味をもって、継続して活動することができ、これも一つの方法かなと思います。

#### 【委員】

先ほどお話がありました学校支援地域本部事業について、本校でも実施しているので、もう少しお話をすると、授業や学校への支援をしていただく方をコーディネーターが見つめてくれるというものです。授業への支援もたくさんしていただきましたが、学校への支援として、施設の補修をしたい時には、地域の大工さんを連れてきてくれたり、遊具がさびてしまって困った時には、地域の鉄工屋さんを連れてきてくれたりしました。地域の学校のことだからということで、安くやったださり、本当に助かりました。今年でなくなってしまうので、寂しい思いをしています。本当は、もっとやっていただくとありがたいですが、今までの成果をうまく生かしていけたらと思っています。

放課後子ども教室については、人数が少し少ないです。一番のネックは帰る時、家の人を迎えに来なければいけないことです。そうでなければ、多くの保護者が入れたいのではないかなと思います。ただ、帰りを自由にどうぞというわけにもいけない御時勢ですので、難しさを感じています。

先ほど、講師の謝礼について話がありましたが、少しでも謝礼を払えば、頼む方はやりやすいということはありません。しかし、講師の方に依頼する時に、ボランティアとして謝金が少ないこと予め伝え、それでも承諾してくれる方に気持ちよく引き受けていただけるとよいと思います。ボランティアをされる方の中には、謝金をもらうことに抵抗がある人もいます。子どもたちといっしょにや

れることが楽しいわけで、お金をもうらことを目的にしているのではないという方もいらっしゃいますので、そのあたりも踏まえて考えていくとよいのではないかと思います。

**【委員】**

福田の児童クラブは、小学校内ではなく、福田児童館内にあります。子ども教室の参加時間の3時半はちょうどおやつとの時間と重なりますので、放課後子ども教室に参加する子は、おやつを食べずに参加し、活動が終わってからおやつを食べています。子どもたちは楽しく参加していますので、児童クラブの子どもたちが、子ども教室にもっと参加してもよいのではないかと思います。児童クラブでも子どもたちに声を掛けるのですが、やりたくないという答えが返ってくる場合があります。実は、やりたくないのではなく、何をやっているかわからないので、参加しないのではないかと思います。子どもは好奇心がありますので、もっとPRすれば、今よりもたくさんの子が集まると思います。

**【委員】**

昨年の第1回運営委員会に初めて参加させていただき、正直、このようなことをやっているとは知りませんでした。放課後児童クラブについては、妻が専業主婦なので、利用はしていませんが、ここまでしっかりやっているとは知りませんでした。また、放課後子ども教室は、核家族化進んでいる今、地域の方や友達とふれあう場は必要だなと思います。やっていく中で、課題が出ているところは、解決が必要かなと思います。ずっとやっていけば、アイデアが出るかもしれませんが、1年しかやっていませんので、感想になってしまい申し訳ありません。来年度の役員にも申し送っていきたいと思います。

**【委員】**

行政の立場から、地域のボランティアの皆さんが、地域の子は地域で育てるという愛情をもって、活動してくださっていることに感謝しています。先ほど、謝金の話がありましたが、基本的にはそのような温かい気持ちで講師をお願いしているのが現状です。謝金を出すことにより、失礼な感情を持たれる方もおりますので、子どもたちのために充実したメニューを作っていただくことはたいへんありがたいですが、やれる範囲で、無理のないようお願いしたいと思います。

また、3ページから5ページにあるように放課後児童クラブへ中学生ボランティア、栄養士さん、地域の方などたくさんのボランティアの方がかかわってくださっています。

普段が、保護者が働いているので、地域の方がなんとかかわりの場をもとうとしてくださっているといます。磐田は、それぞれの地区で子どもたちのことを思ってください、本当に感謝申し上げます。

**【委員長】**

ありがとうございました。要望等、他になにかあれば、お願いします。

**【委員】**

クレヨンクラブの実行委員会が先日ありましたが、その中でやめたいという方が4人ありました。毎年、3人から4人ほどやめていくので、実行委員会の中で、いろいろな方に声を掛けてなんとか補充しています。市の方としても事業のPRとともに、人材の呼び掛けをしていただきたいと思います。

**【委員】**

福田もまったく同じ状況でして、人材の確保に困難を来しています。また、講座が10いくつかあるのですが、子ども教室へ参加する子が少なくなっていて、何とかして人数を増やしたいと思っています。今年度初めて、公民館便りの中に子ども教室のことを載せていただきましたが、あまり効果は見られなかったようなので、来年度の募集時期に合わせて、もう一度載せてみようと考えているところです。また、先ほど、講座内容に工夫が必要かもしれないという御意見もいただきましたが、私たちも実はそのように考えています。しかし、どこをどのように工夫したらよいのか正直分らないところもありますので、このような場で御意見をいただけるとたいへんありがたいです。

**【委員長】**

ありがとうございました。先ほどの人材確保については、旧福田町時代には人材名簿があったと思いますし、それ以外にも文化協会の方に声を掛けるのも一つの方法かなと思います。やっていただけかどうかは、今後の交渉次第とは思いますが。また、ノウハウについては、例えば県の社会教育委員会で聞いても答えは出てこないと思います。まずは、福田の講師の方々と相談して、生み出していくことが一番だと思います。

**【委員】**

講座方式は、やはり限界があると思います。例えば、料理教室では、料理をする人が中心になりがちで、子どもは言われたとおりやるだけになり、次第におもしろくなくなり、参加者が減ってきてしまうということを県の研修会で聞いてきました。

青城小では、子どもがやりたいことをやらせています。子どもは、今日はこれをやるのだと決めてきます。私たちは、教えようとも思いませんし、安全で、楽しく遊ばせることだけを考えています。子どもたちは、汗をかき、走り回っています。

**【委員】**

実際、講座形式はたいへんだと思います。高齢の方であっても、子どもとふれあいたい、やりがいを感じたいという方が、いらっしゃれば、これも居場所づくりになると思います。

**【委員長】**

ありがとうございました。本年度最後の運営委員会でしたが、いろいろな課題も出されていたので、先ほども申しましたとおり、たいへんだとは思いますが、各地区で活動を工夫していただければと思います。

## 4 閉 会

**【事務局】**

以上をもちまして、平成 22 年度第 2 回磐田市放課後子どもプラン推進事業運営委員会を終わります。ありがとうございました。

事務局から 2 点お願いします。まず、委員の任期ですが、皆さんには、平成 21 年度、平成 22 年度委員を務めていただきました。任期は 2 年になりますので、今年度で終了となります。今まで、ありがとうございました。また、要綱では再任を妨げないとなっておりますので、来年度、改めて声を掛けさせていただくことがあるかもしれません。その際は、よろしくをお願いします。

2 点目は、市の機構改革についてです。本年度は、放課後児童クラブ、放課後子ども教室ともに私たち児童青少年育成室で担当していましたが、平成 23 年度は、放課後児童クラブは教育総務課幼稚園児童係、放課後子ども教室は学校教育課が担当となります。同じ教育委員会になりますので、両者が連携をとって進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。以上です。